

第4回日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ

この制度は時間生物学領域で顕著な業績をあげ、今後の活躍が期待される若手研究者を表彰するためのもので、年齢37歳までの方を対象とし、原則として毎年基礎・科学部門1名、臨床・社会部門1名の計2名を表彰することになっております。自薦・他薦を問いませんので、第4回学術奨励賞へ奮ってご応募ください。応募にあたっては下記の様式にご記入いただきますようお願いいたします。

■締め切り：平成18年8月31日（木）必着

■あて先：〒202-0021 西東京市東伏見2-7-5

早稲田大学理工学部、電気・情報生命工学科薬理研究室内

日本時間生物学会事務局 柴田 重信

日本時間生物学会学術奨励賞選考委員長

大川匡子（滋賀医科大学）

時間生物学会学術奨励賞候補者調書

ふりがな

1. 氏名：

2. 生年月日：

（平成 年 月 日 現在）

3. 現職：

4. 最終学歴ならびに職歴：

5. 学会での表彰暦：

6. 本件に関する連絡担当者名：

7. 業績

1) 研究の名称：

2) 研究の内容：

・
・

3) 時間生物学に対するこれまでの貢献と今後の可能性（具体的に分かり易く記述すること）：

4) 論文リスト（ピアレビューのある原著論文のみ）

第13回学術大会のお知らせ

第13回学術大会の計画については、昨年4月7日に第1回の準備委員会を開き、2006年11月7日（火）および11月8日（水）を会期の第一候補として準備を進めて参りました。その後、以下のような事情から、当初の日程を変更して開催することにいたしました。当初の会期案をもとに日程調整などをお考えいただいた会員の皆様には、ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、どうか皆様のご理解とご協力をいただけますよう、準備委員会よりお願い申し上げます。

【変更に至った理由】今年の年頭に、第22回 国際生物学賞（2006年）の授賞分野として「Chronobiology（時間生物学）」が選定された旨、日本学術振興会から連絡を受けました。国際生物学賞については <http://www.jsps.go.jp/j-biol/main.htm> をご覧いただきたいのですが、本賞は昭和天皇のご在位60年と共に生物学のご研究を記念し、さらには生物学の奨励を図るため、昭和60年（1985年）に創設された国際的な学術賞です。今回、「時間生物学」が授賞分野に選定されたことは、日本時間生物学会にとって誠に喜ばしいニュースと言えます。現在、国内外からの受賞候補者の推薦が締め切られ、これから、審査委員会での選考を経て、夏頃に受賞者が内定する予定とかがっております。

授賞者決定ののち、例年、11月の最終月曜日（宮内庁の都合により変更の可能性あり）に天皇皇后両陛下の御臨席のもと、日本学士院で授賞式が挙行されます。この授賞式の前後に近い日程で、受賞者を含め、国内外の第一線で活躍している研究者を招聘し、数日をかけて一般に公開する形で国際記念シンポジウムが開催されます。今回、この国際シンポジウムを東京地区で開催するという要請から、偶然、小生が主催責任者をお引き受けすることになりました。このような経過で、第13回日本時間生物学会学術大会と第22回国際生物学賞記念シンポジウムを同じく11月に東京で開催し、2つの研究集会をともに盛会にするための方策として、両者を同時に開催する変則の学術大会日程案を考え、急遽、会場を予約いたしました。その後、本学会の理事会にて事情をご説明し、本間研一理事長ならびに理事会の了承を得ております。

このような経緯から、当初の日程案を変更して、下記の通りの学術大会日程とさせていただきます。会員の皆様方にご理解いただきたく、また、多くの皆様が奮って参加していただけますよう、心よりお願い申し上げます。

第13回日本時間生物学会学術大会 準備委員会 委員長 深田吉孝

第13回日本時間生物学会学術大会

- 会 期：平成18年11月30日（木）～12月2日（土）
- 会 場：東京国際フォーラム（〒100-0005 千代田区丸の内3-5-1）
<http://www.t-i-forum.co.jp/general/accommodation/index.php>
- 大会会長：深田 吉孝 東京大学 大学院理学系研究科 生物化学専攻 教授
- 日程(案)：11月30日（木）第13回日本時間生物学会学術大会・総会
12月1日（金）第22回国際生物学賞記念シンポジウム
第13回日本時間生物学会学術大会（ポスター発表・展示）
12月2日（土）第22回国際生物学賞記念シンポジウム
第13回日本時間生物学会学術大会（ポスター発表・展示）

記念シンポジウムとの同時開催となる12月1日と12月2日は、シンポジウムの休憩時間をポスター討論時間に充てる計画です（未定）。

■演題申込：大会ホームページURLからのオンライン申込にする予定です。
8月中旬に締め切る予定です。

第14回学術大会のお知らせ

2007年度の第14回学術大会は、日本睡眠学会（大会長 大井田隆、日本大学医学部社会医学講座公衆衛生学部門）との共同開催とし、11月の7日（水）、8日（木）、9日（金）の3日間を予定しています。日本時間生物学会は7日（水）、8日（木）に、日本睡眠学会は8日（木）、9日（金）に開催し、3日間の参加費は共通となっています。特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップなどを企画していますが、8日（木）は合同シンポジウムを組む予定です。下記の通り会場は、東京の都心で便利もよく、時間生物学だけでなく、睡眠科学の現状を知るよい機会と思いますので、多数の方の参加をお待ちしております。

記

会 期：2007年11月7日（水）、8日（木）、9日（金）
（7日、8日が日本時間生物学会の大会となります。）

会 場：京王プラザホテル
T E L：03-3344-0111（大代表）
F A X：03-3345-8269（フロント）
〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1
U R L：http://www.keioplaza.co.jp/index1.html?

大会会長：高橋 敏治
法政大学文学部心理学科 教授

演題申し込み：大会ホームページを2007年4月初めに大学医療情報ネットワーク（UMIN）に作成し、on line申し込みとします。原稿締め切りは2007年6月末の予定です。